

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

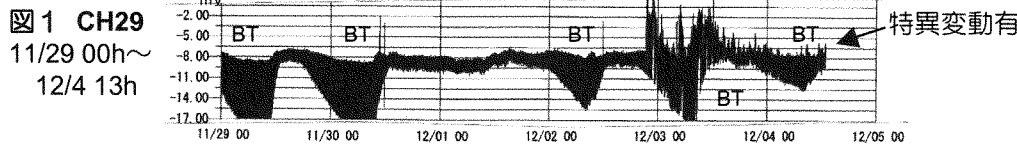
続報 No.319

2021.12/04 (土曜) 16:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 前兆継続 1月or2月初旬の可能性 前兆終息を待って発生時期推定予定 少なくとも1/14以前発生は否定される

極大2021.8/8.0 → 2021.12/4.6時点で前兆継続 → 2022.1/14以降



極大2021.8/13.0 → 2021.12/4.6時点で前兆継続 → 2022.1/13以降

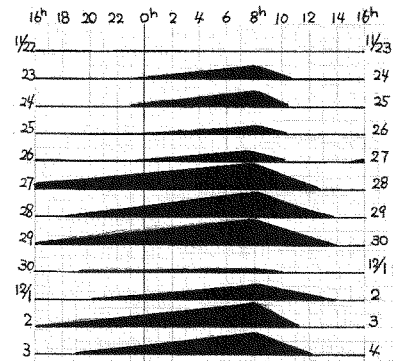
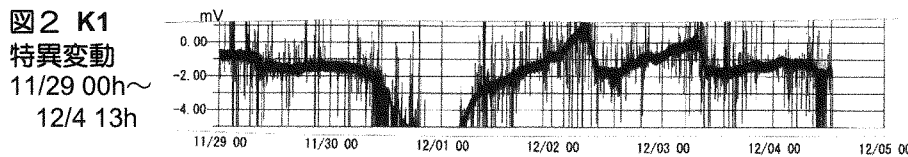
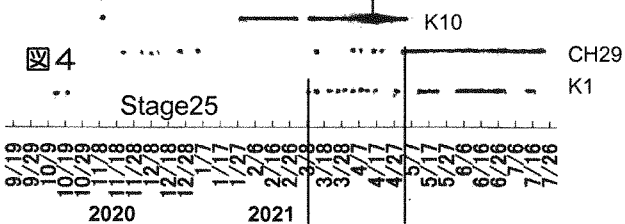


図3 基線幅増大BTの出現状況
CH9,15,29,17に同期出現 スケッチは
CH15 左端16時、右端16時、縦線0時

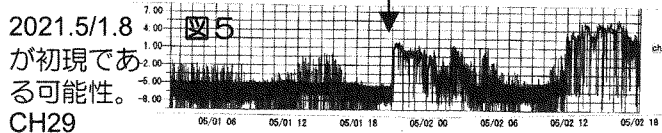
初現 2020.11/9の場合 極大2021.4/17.0 (PBF=169時間) → 2022.2/6.3±3



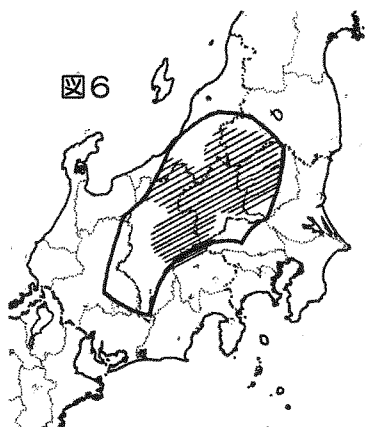
No.1778長期継続前兆の続報です。主な継続前兆CH29,K1の状況は図1、図2のとおり、本日12/4午後時点でまだ特異変動継続中です。従って2022.1/14以前に対応地震が発生する可能性は否定可能。CH29極大2021.8/8、K1極大2021.8/13認識で、現在も前兆変動が継続していることから、ステージ25の前兆出現状況を振り返り、初現を捜していました。図4のとおり。

K1 先行特異初現 2021.3/10の場合 — 極大2021.8/13.0 → 2022.1/16±3

CH29 初現 2021.5/1.8の場合 — 極大2021.8/8.0 → 2022.2/6.4±3



に終息の可能性が計算されます。これ以外の可能性も含め、実際の終息を確認します。



- ◆ 推定領域：図6太線内領域 火山近傍
斜線域=可能性考えやすい参考推定領域
- ◆ 推定規模：M8.0±0.3
直前に噴火前兆変動が観測されない限り
近傍火山の噴火の可能性は考えにくい
- ◆ 推定時期：CH29完全静穏化確認後計算予定
少なくとも2022.1/14以前の可能性は否定
- ◇ 推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇ 推定発生時刻：AM 9:00±2 又はPM 6:00±2

日々配信の観測情報では詳しく報告済ですが、11/24未明より、八ヶ岳の4観測装置(CH9,15,17,29)に同期する基線幅増大BTが出現しました。図3はBTの変化の様子をわかり易くスケッチしたものです。今後の観測で周期性が確認できれば、発生時期推定に役立ちます。